

「富富富」の生育状況と当面の技術対策について

令和3年7月19日

農業技術課 広域普及指導センター

1 生育状況（実証ほデータ）

近年に比べて、草丈、茎数、葉色は並み、葉齢は遅れている。

幼穂形成期は、近年より2日遅い7月15日となった。

今後、気温が平年並みに推移すると、出穂期は近年より2日遅い8月6日頃と見込まれる。

表1 「富富富」の生育状況（7月19日 栽培実証ほ）

年次または 試験内容	田植日 (月/日)	草丈 (cm)	茎数		葉齢 (L)	葉色		幼穂 形成期	出穂期
			(本/株)	(本/m ²)		葉色板	SPAD		
R3	5/16	75.3	22.9	496	12.4	4.2	36.2	7/15	(8/6)
R2	5/15	71.3	23.0	507	12.7	4.1	37.5	7/14	8/7
近年	5/14	72.9	23.6	508	12.7	4.1	36.1	7/13	8/4
前年比・差	1	106	100	98	-0.3	0.1	-1.3	1	(-1)
近年比・差	2	103	97	98	-0.3	0.1	0.1	2	(+2)
良食味栽培・試験区	5/21	72.1	26.4	582	11.7	4.1	36.4	7/17	(8/8)
密苗栽培・試験区	5/16	74.6	20.7	476	12.3	4.2	37.9	7/16	(8/7)

注1) R3：生育観測ほ、良食味栽培・対照区、密苗栽培・対照区(合計12ほ場)の平均、近年：H29～R2の平均
良食味栽培・試験区及び密苗栽培・試験区：実証ほ4か所の平均

注2) 本年の出穂期は予測値

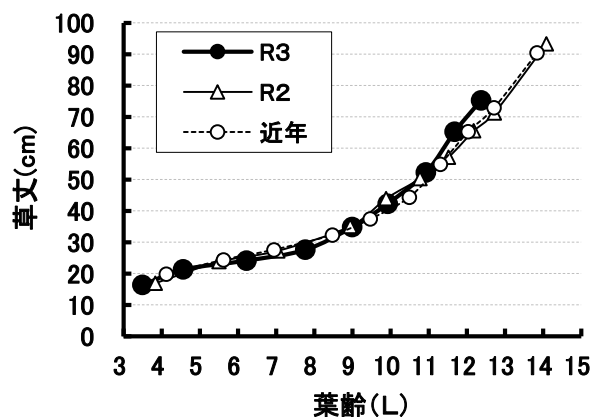


図1 草丈の推移（富富富実証ほ）

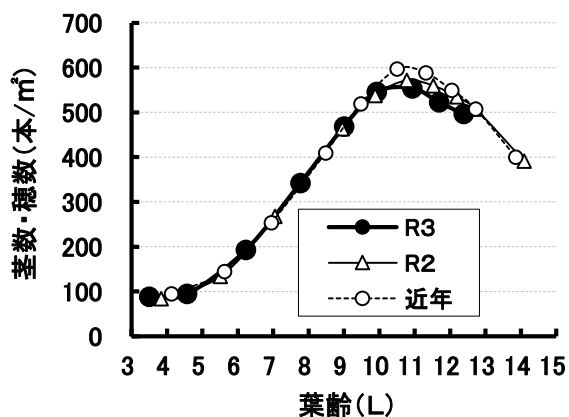


図2 茎数の推移（富富富実証ほ）

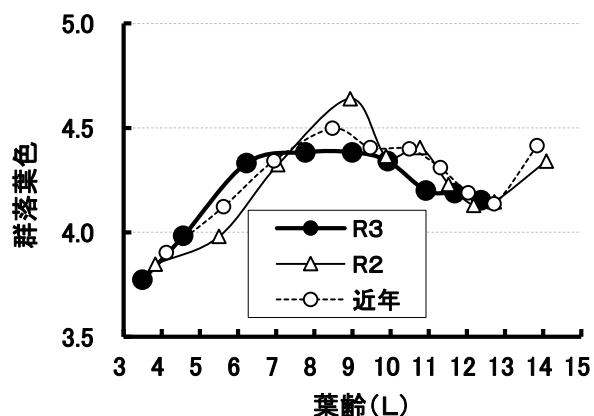


図3 葉色の推移（富富富実証ほ）

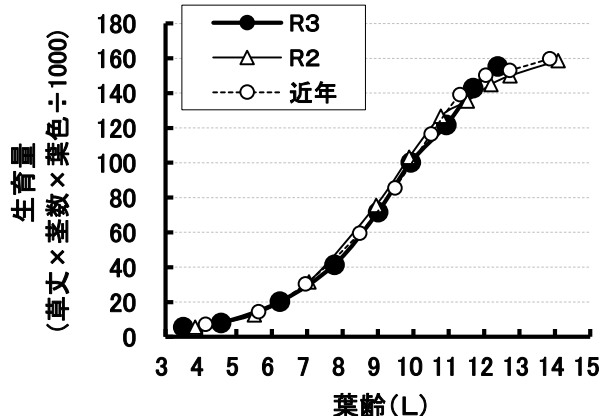


図4 生育量の推移（富富富実証ほ）

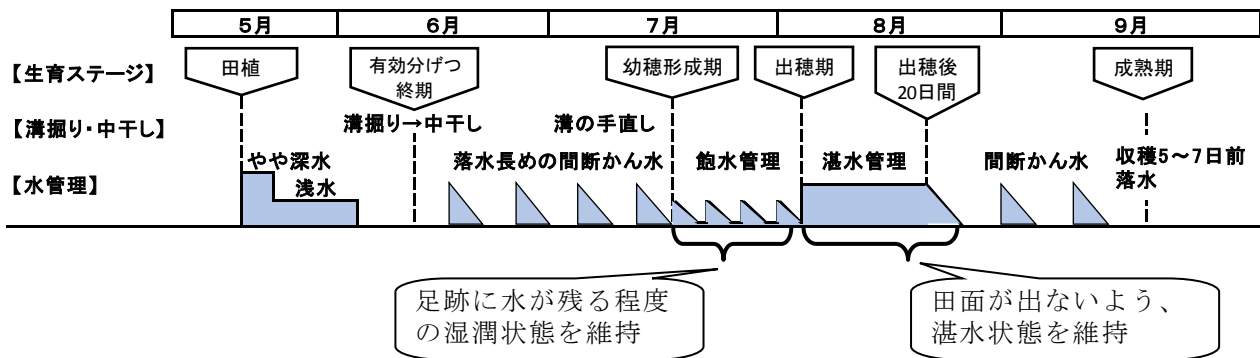
2 当面の技術対策

- ・ 出穂期までは稲体の活力を維持するため、飽水管理（足跡に水が残る程度の湿潤状態を維持）を行う。
- ・ 出穂後 20 日間は湛水管理を徹底する。
- ・ 肥効調節型基肥栽培では、原則、追加穂肥は施用しない。
- ・ 分施栽培では、2 回目の穂肥を確実に施用する。

(1) 水管理

- ・ 今後も高温多照が予報されているので、出穂期までは稲体の活力を維持するため、飽水管理（足跡に水が残る程度の湿潤状態を維持）を行う。
- ・ 出穂後 20 日間は湛水管理を徹底する。

<水管理のイメージ>



(2) 「富富富」肥効調節型基肥栽培の管理

- ・ 原則、追加穂肥は施用しない。
- ・ ただし、幼穂形成期の 14 日後の SPAD 値 32（群落葉色 4.2）未満の場合は、出穂 3 日前（走り穂が確認される頃）までに窒素成分で 1.0kg/10a 程度の追加穂肥を行い、穂揃期の SPAD 値 35（群落葉色 4.4）に誘導する。

(3) 「富富富」分施栽培における 2 回目穂肥

- ・ 1 回目の 7 日後に窒素成分で 1.5kg/10a を確実に施用する。ただし、1 回目穂肥を施用しない場合は、幼穂形成期の 14 日後に窒素成分で 1.5kg/10a 施用する。
- ・ ただし、2 回目穂肥を施用する時期の群落葉色が 4.2 未満の場合は、穂肥量を窒素成分で 2.0kg/10a 施用し、穂揃期の葉色を 4.4 に誘導する。

(4) その他の管理

病虫害防除は、「コシヒカリ」に準じて実施する。ただし、生育期間を通しての化学合成農薬の成分使用回数が 12 以内となるよう留意する。